

かないあんぜん がくぎょうじょうじゅ 家内安全・学業成就

だるまさんに 願いを込めて



神奈川県内でだるまを作っているのは平塚だけなんです。しかも市内には三軒だけ。わたしたちは、そのうちの二軒、東八幡四丁目にある「荒井だるま屋」さんを訪ねました。



だるまのことをいっぱい教えてもらった後、今回は特別にだるまの絵付けを体験してもらいました。色を塗っては乾かし、塗っては乾かし、何回も塗り直ししながら、作り上げていきました。だるまは丸いので、

さあ、チャレンジ！
だるま作り

昔、病気で亡くなる人がいっぱいいたときに、だるまを置いていたら病気が治ったというお話があるそうです。今では、子どもの成長や、家内安全、学業成就、商売繁盛、必勝など、だるまにかける願いは様々です。

願いは本当になうのか…

荒井さんは、「だるまのおかげで願いがかなった」と言われることが一番うれしいそうです。でも、だるまを手にしただけでは、願いはかなわないと教えてくれました。大切なのは、だるまに頼ることだけではなく、その願いをかなえるために、自分自身で努力することだそうです。

塗るのが大変です。でも、すごく楽しくて、思い出に残る、世界でただ一つのだるまが完成しました。帰る前に、荒井さんに小さなだるまをいただきました。そのだるまを作っただるまを比べてみました。うん… やっぱ、わたしたちが作っただるまはとて上手でした。でも、それぞれがアイデアを出し合っ

て作っただるまは、ずっと大切に持っていていようと思います。大きな願いを込めて…



あれ？ みんな違う色だね



じゃーん。完成です！



だるま同士で
会議中？



どこから来たの？
なぜ赤いの？

だるまという名前は「達磨大師」というお坊さんの名前に由来するそうです。荒井だるま屋さんのだるまは、だるままで有名な群馬県の高崎から、東京都の多摩を経て伝わったそうです。



赤は幸運の色なんですね

そして、だるまといえば「赤」。なぜ赤いのか、荒井さんに尋ねると、それはパワーや幸運を意味する色だからだそうです。でも、このだるま屋さんには、

緑やピンク、そしてなんと金や銀の色をしただるまもありました。形やデザインもいろいろで、クマの形をしただるま、三角形のだるま、阪神タイガースのだるま、ベルマーレのだるまなど、初めて見るだるまがたくさんあって驚きました。願い事の種類によって、色や形を選んでみるのも面白いですね。

ぜんぶ手作りです

できてから百四十年の歴史がある荒井だるま屋さんのだるまは、一つ一つ心を込めた手作りです。だから、二つとして同じものは作れないそうです。

だるまはまず、木の型に紙をはり、それをきれいながし、中に粘土をつけて作ります。そうして、できたものに顔を書いていきます。だるまの顔のまゆげは鶴、ひげは亀、口は富士山をイメージして書いているんです。雨の日は塗った色がなかなか乾かなくて、作る数が減ってしまうそうです。